年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　国語　　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（１組：　渡邉　）

使用教科書：（ 新編　言語文化（大修館書店）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値や我が国の言語文化への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な言語知識を身につけさせる。	言語感覚を磨き、適切かつ効果的に表現する能力を養わせる。	進んで表現することで、国語力の向上を図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	○物語を受け継ぐ ・語彙を増やし、文脈の中での文章の意味を分かるようにする。作品に興味を持ち、内容の理解を深めさせる中で、登場人物の心情の変化をとらえさせる。	芥川龍之介「羅生門」 ・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取らせる。 ・元になった古典作品との比較を踏まえて、内容の解釈を深める。 ＜教材＞ ・教科書 ・ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 ・漢字の読み書きに慣れ、文の中で使っている。 ・文脈の中での文章の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・作品の背景との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・異なる時代の作品と読み比べ、比較しながら内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、小説の構成や登場人物の心情の変化をとらえようとしている。 元になった古典作品との比較に興味を持っている。	○	○	○	9
	○ことばの基礎 ・基礎的な国語の語彙を身に付けさせる。	・漢字の読み書き（漢検８～５級） ＜教材＞ ・漢字プリント		○		【知識・技能】 ・漢検８～５級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢検８～５級程度の語彙の学習に対して意欲をもっている。	○		○	4
	定期考査						○	○		1
	○表現を味わう ・語彙を増やし、文脈の中での文章の意味を分かるようにする。作品の特徴的な表現に興味を持ち、内容の理解を深めさせる中で、登場人物の関係や心情の変化をとらえさせる。	村上春樹「鏡」 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心情を読み取らせる。 ＜教材＞ ・教科書 ・ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 ・文脈の中での文章の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味を持ち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	9
	○ことばの基礎 ・基礎的な国語の語彙を身に付けさせる。	・漢字の読み書き（漢検８～５級） ＜教材＞ ・漢字プリント		○		【知識・技能】 ・漢検８～５級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢検８～５級程度の語彙の学習に対して意欲をもっている。	○		○	4
	定期考査						○	○		1

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　国語　　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（１組：　渡邉　）

使用教科書：（ 新編　言語文化（大修館書店）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値や我が国の言語文化への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な言語知識を身につけさせる。	言語感覚を磨き、適切かつ効果的に表現する能力を養わせる。	進んで表現することで、国語力の向上を図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
2学期	○古文に親しむ、随筆を楽しむ ・古文の読みに慣れる。内容や構成、展開を的確にとらえさせ、登場人物の行動や心情を読み取らせる。	宇治拾遺物語「児のそら寝」 徒然草「奥山に猫またといふもの」 ・登場人物の行動、心情の移り変わりを読み取らせる。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもたせる。 ＜教材＞ ・教科書 ・ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 ・古典特有の表現等について理解している。 【思考・判断・表現】 ・内容や構成、展開などを的確にとらえている。 ・作品に表れているものの見方、考え方をとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文に興味を持ち、積極的に学習に取り組もうとしている。登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	○	○	○	13
	○ことばの基礎 ・基礎的な国語の語彙を身に付けさせる。	・漢字の読み書き（漢検８～５級） ＜教材＞ ・漢字プリント		○		【知識・技能】 ・漢検８～５級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢検８～５級程度の語彙の学習に対して意欲をもっている。	○		○	4
	定期考査						○	○		1
	○表現を味わう ・語彙を増やし、文脈の中での文章の意味を分かるようにする。作品の特徴的な表現に興味を持ち、内容の理解を深めさせる中で、登場人物の関係や心情の変化をとらえさせる。	川上弘美「水かまきり」 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心情を読み取らせる。 ＜教材＞ ・教科書 ・ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 ・文脈の中での文章の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味を持ち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	14
	○ことばの基礎 ・基礎的な国語の語彙を身に付けさせる。	・漢字の読み書き（漢検８～５級） ＜教材＞ ・漢字プリント		○		【知識・技能】 ・漢検８～５級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢検８～５級程度の語彙の学習に対して意欲をもっている。	○		○	2
	定期考査						○	○		1

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　国語　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組

教科担当者：（１組：　渡邉　）

使用教科書：（ 新編　言語文化（大修館書店）　）

教科　国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉のもつ価値や我が国の言語文化への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な言語知識を身につけさせる。	言語感覚を磨き、適切かつ効果的に表現する能力を養わせる。	進んで表現することで、国語力の向上を図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
３学期	○漢文に親しむ、現代に生きることば ・日本の言語文化と外国の言語文化の関係、漢文を読むためのきまりについて理解させる。漢文を読むことに興味を持たせ、ここで語られる教訓の意味を理解し、自らに還元させる。	戦国策「蛇足」 ・訓読の決まりを学ばせ、「蛇足」で語られている教訓の意味を理解させる。 ＜教材＞ ・教科書 ・ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・漢文を読むために必要なきまりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・内容や構成、展開などを的確にとらえている。 ・作品に表れているものの見方、考え方をとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、理解を深めようとしている。	○	○	○	11
	○ことばの基礎 ・基礎的な国語の語彙を身に付けさせる。	・漢字の読み書き（漢検８～５級） ＜教材＞ ・漢字プリント		○		【知識・技能】 ・漢検８～５級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢検８～５級程度の語彙の学習に対して意欲をもっている。	○		○	3
	定期考査						○	○		1
										合計
										78

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　数学　　科目　数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（１組：　横山　）

使用教科書：（ 新数学Ⅰ／新数学Ⅰ 解答編 （東京書籍）　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　物事を数学的に捉え、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用し、物事を論理的かつ他の事象と関連付けながら統合的・発展的に考察する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形と計量、2 次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	図形の構成要素間の関係に着目し図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A ２次関数―２次関数とそのグラフ 【知識及び技能】 ２次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、２つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を２次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。	・関数 ・２次関数とそのグラフ ・グラフの平行移動 ＜教材＞ ・授業プリント ・一人一台端末	【知識・技能】 ２次関数の値の変化やグラフの特徴を理解し、グラフを正確にかくことができる。 【思考・判断・表現】 ２次関数の式とグラフの関係について、コンピュータなどを用いてグラフをかくことで多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を２次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりしようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	B ２次関数 ―２次関数とそのグラフ ―２次関数の値の変化 【知識及び技能】 ２次関数の最大値や最小値を求めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、２つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を２次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。	・y=ax2+bx+cのグラフ ・２次関数の最大値・最小値 ＜教材＞ ・授業プリント ・一人一台端末	【知識・技能】 ２次巻子のグラフをかき、そのグラフを用いて２次関数の最大値・最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 問題の解決に向けて、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりしようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　数学　　科目　数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（１組：　横山　）

使用教科書：（ 新数学Ⅰ／新数学Ⅰ 解答編 （東京書籍）　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　物事を数学的に捉え、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用し、物事を論理的かつ他の事象と関連付けながら統合的・発展的に考察する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形と計量、2 次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	図形の構成要素間の関係に着目し図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
２学期	C 三角比―鋭角の三角比 【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味を理解し、その値を求めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。	・三角形 ・タンジェント ・サインとコサイン ・三角比の利用 ＜教材＞ ・授業プリント	【知識・技能】 鋭角の三角比の意味を理解し、その値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	D 三角比　―鋭角の三角比 　　―三角比の応用 【知識及び技能】 正弦定理や余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。	・三角比の相互関係 ・90°－Aの三角比 ・三角形の面積 ・正弦定理 ・余弦定理 ＜教材＞ ・授業プリント	【知識・技能】 正弦定理や余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　数学　　科目　数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（１組：　横山　）

使用教科書：（ 新数学Ⅰ／新数学Ⅰ 解答編 （東京書籍）　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　物事を数学的に捉え、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　数学を活用し、物事を論理的かつ他の事象と関連付けながら統合的・発展的に考察する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】　数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形と計量、2 次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	図形の構成要素間の関係に着目し図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりする力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
３学期	E 三角比―三角比の応用 【知識及び技能】 三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。	・鈍角の三角比 ・三角比の相互関係 ・鈍角の三角比の利用 ＜教材＞ ・授業プリント	【知識・技能】 三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計 78

年間授業計画　様式例

南葛飾　高等学校 令和7年度（２学年用）　教科　　理科　　科目　生物基礎

教　科：　理科　　科　目：　生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　　組

教科担当者：（1組：磯田　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 生物基礎　実教出版　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験など

【思考力、判断力、表現力等】人間生活と生命の在り方、生命尊重の考えから物事を判断し、解決に向けて思考する。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んでかかわり，科学的に探究しようとする態度を育む。

科目　生物基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	生物の特徴 【知識及び技能】 ・地球上の多種多様な環境と適応した生物の存在の理解。 ・生物に共通する特徴から、生命を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物の生息環境の違いが生命の多様性を生み出していることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物の多様性から、人間も地球上に生きる一つの生命であることを気づかせる。	第1章　生物の特徴 1節　生物の多様性と共通性	【知識・技能】生物多様性について理解している。生物の共通性について理解している。 【思考・判断・表現】 生物の多様性と共通性から、生命活動について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命について考え、自己の生命活動について考えをむけ、生命尊重に向かえる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	細胞とエネルギー 【知識及び技能】 細胞の構造とその働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生命活動に伴う化学反応から細胞構造の役割分担を考える。 生命の多様性を生み出す原因を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物が必要とする条件、生命活動にかかわる物質、エネルギーについて関心を持ち，意欲的に調べようとする。	2節　細胞とエネルギー	【知識・技能】 細胞構造、細胞小器官の働きについて理解している。生命活動のエネルギーの流れを理解している 【思考・判断・表現】 生命活動について物質とエネルギーの利用の観点から考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の生命活動の観点から代謝を考えることができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

年間授業計画　様式例

南葛飾　高等学校 令和7年度（２学年用）　教科　　理科　　科目　生物基礎

教　科：　理科　　科　目：　生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　　組

教科担当者：（1組：磯田　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 生物基礎　実教出版　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験など

【思考力、判断力、表現力等】人間生活と生命の在り方、生命尊重の考えから物事を判断し、解決に向けて思考する。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んでかかわり，科学的に探究しようとする態度を育む。

科目　生物基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
２学期	第2章　遺伝子とその働き 【知識及び技能】 生物の遺伝情報がDNAによって担われていること、その研究の歴史と理解。 DNAからタンパク質が合成される仕組みと現代生物学の根幹をなすセントラルドグマの理解。 【思考力、判断力、表現力等】 DNAやタンパク質を分析することで生命活動の仕組みを深く考える。 遺伝子工学、DNA分析の現状から、その有意性、危険性を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 RNAワクチンなど、現代医学の発展に寄与している研究について興味を持たせる。 光に関わる技術の進歩により，幅広く利用されていることを学習させる。	第2章　遺伝子とその働き 1節　遺伝情報とDNA　　2節遺伝情報とタンパク質の合成	【知識・技能】 生物の遺伝現象について、遺伝子・DNAを理解し結びつけることができる。 【思考・判断・表現】 生物の特徴が遺伝子から生じていることを考え、同種・異種の差異に考えを進めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 +　　自己・他者問わず、生命尊重の意義を、生殖と遺伝子レベルの重要性から見ることがでKる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第3章　ヒトのからだの調節 【知識及び技能】 生命活動を維持するための条件を理解しホメオスタシスの仕組みを学ぶ。 地球環境の中で植物の持つ重要性を理解し、植生の特徴を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自分自身の体験と生命活動を維持していること実感をもって意識する。 自然植生と農業等による人工の植生について。違いを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物が単独で存在できないことを認識し、環境の重要さを意識させる。 ・セラミックスは，古代から利用されている土器から現代の最先端の技術までを結びつけられることを理解させる。 ・金属やプラスチック，セラミックスの製造には多量の原料，エネルギーが必要であることを理解させる。	第3章　ヒトのからだの調節 1節　体内環境　2節　体内環境の維持のしくみ 3節　免疫 第4章　生物の多様性と生態系 1節　植生とその成り立ち	【知識・技能】 生命活動に必要な物質の成り立ちを知り、理解している。体内環境の維持の仕組みについて理解している。植生と環境の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ホメオスタシスの重要性を動物と植物・生育環境を結び付けて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境保護の観点を持つ。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

年間授業計画　様式例

南葛飾　高等学校 令和7年度（２学年用）　教科　　理科　　科目　生物基礎

教　科：　理科　　科　目：　生物基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～　　組

教科担当者：（1組：磯田　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 生物基礎　実教出版　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験など

【思考力、判断力、表現力等】人間生活と生命の在り方、生命尊重の考えから物事を判断し、解決に向けて思考する。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んでかかわり，科学的に探究しようとする態度を育む。

科目　生物基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	第4章　生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 地球の環境が生み出す植生とバイオームについて学ぶ。 生態系のバランスを担保するものが生物多様性であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 なぜ生態系の維持が重要なのか、生物多様性が重要となるのか考えることができる。 身近にいる微生物の重要性を気づかせる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球環境の保全に向け、人類中心の考えだけでは成立しないことに気付かせる。	第4章　生物の多様性と生態系 2節　植生とバイオーム 3節　生態系と生物の多様性 4節　生態系のバランスと保全	【知識・技能】 食物連鎖・寄生・共生といった生物同士の関りを理解している。生物と環境の関係が多様性を生みだすことを理解している。 【思考・判断・表現】 人間の生活と生物多様性のバランスについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命尊重と環境保護を科学的・社会的・人間的に考える視点を持つ。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計 78

年間授業計画　様式

南葛飾　高等学校　令和７年度（２学年用）　教科　保健体育　　科目　体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～　　組

教科担当者：（１組：長野泰明）

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館）　　）

教科　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　運動の特性に応じた技能等及び社会生活の健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動技能を高め、各自の能力に応じて、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、思考、判断しながら授業に取り組み、自分の考えや技能を表現できるようにする。	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、協調等の態度を育て、健康・安全に留意して、生涯を通じて継続的に運動ができるように意欲的に授業に取り組むことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 体つくり運動 【知識及び技能】 各自の能力に応じて自己の技能をより効果的に発揮させる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動能力テストの各種目のルールを理解し、自己の最高度の能力を発揮するコツを意識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に体ほぐしの運動や体つくり運動、運動能力テスト取り組ませる。	体ほぐしの運動 体つくりの運動 運動能力テスト（スポーツテスト計測）	【知識・技能】 各自の能力に応じて自己の技能をより効果的に発揮している。 【思考・判断・表現】 運動能力テストの各種目のルールを理解し、自己の最高度の能力を発揮するコツを意識して運動をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に体ほぐしの運動や体つくり運動、運動能力テストに取り組んでいる。	○	○	○	8
	C 球技 【知識及び技能】 アルティメットの楽しさを味わい、パスやスペースに走りこむ力や防御の基本的な技能を身に付け、仲間とゲームを展開させる。 【思考力、判断力、表現力等】 チームや自己のアルティメット上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫させ、自己や仲間の考えを伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をさせ、安全を確保して、アルティメットに主体的に取り組ませる。	アルティメット	【知識・技能】 アルティメットの楽しさを味わい、パスやスペースに走りこむ力や防御の基本的な技能を身に付け、仲間とゲームを展開している。 【思考・判断・表現】 チームや自己のアルティメット上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、アルティメットに主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	B 球技 【知識及び技能】 バドミントンの安定したラケット操作やペアと連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ペアや自己のバドミントン上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫させ、自己や仲間の考えを伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をさせ、安全を確保して、バドミントンに主体的に取り組ませる。	バドミントン	【知識及び技能】 バドミントンの安定したラケット操作やペアと連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ペアや自己のバドミントン上達の課題を見つけさせ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、バドミントンに主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	H 体育理論 【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるように指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し、判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に意欲的に取り組ませる。	体育理論	【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、自分の言葉で説明できる。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に意欲的に取り組んでいる	○	○	○	2

年間授業計画　様式

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　保健体育　　科目 体育

教　科：保健体育　　科　目：体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　　組

教科担当者：（１組：長野泰明）

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館）　　）

教科　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　運動の特性に応じた技能等及び社会生活の健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動技能を高め、各自の能力に応じて、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、思考、判断しながら授業に取り組み、自分の考えや技能を表現できるようにする。	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、協調等の態度を育て、健康・安全に留意して、生涯を通じて継続的に運動ができるように意欲的に授業に取り組むことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	D 球技 【知識及び技能】 卓球の安定したラケット操作やペアと連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにさせる。　。 【思考力、判断力、表現力等】 ペアや自己の卓球上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫させ、自己や仲間の考えを伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をさせ、安全を確保して、卓球に主体的に取り組ませる。	卓球	【知識・技能】 卓球の安定したラケット操作やペアと連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができている。 【思考・判断・表現】 ペアや自己の卓球上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、卓球に主体的に取り組んでいる	○	○	○	10
	C 球技 【知識及び技能】 パス、ドリブル等の安定したボールと空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入に向けての攻防をさせるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 チームや自己のバスケットボール上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫させ、自己や仲間の考えを伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をさせ、安全を確保して、バスケットボールに主体的に取り組ませる。	バスケットボール	【知識・技能】 パス、ドリブル等の安定したボールと空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入に向けての攻防をができている。 【思考・判断・表現】 チームや自己のバスケットボール上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、バスケットボールに主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	E 球技 【知識及び技能】 バレーボールで役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 チームや自己のバレーボール上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫させ、自己や仲間の考えを伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をさせ、安全を確保して、バレーボールに主体的に取り組ませる。	バレーボール	【知識・技能】 バレーボールで役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができている。 【思考・判断・表現】 チームやや自己のバレーボール上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、バレーボールに主体的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	H 体育理論 【知識】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるように指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し、判断するとともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に意欲的に取り組ませる。	体育理論	【知識】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、自分の言葉で説明できる。 【思考・判断・表現】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に意欲的に取り組んでいる	○	○	○	2

年間授業計画　様式

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　保健体育　　科目 体育

教　科：保健体育　　科　目：体育　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　　組

教科担当者：（１組：長野泰明）

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館）　　）

教科　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　運動の特性に応じた技能等及び社会生活の健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたって継続して健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動技能を高め、各自の能力に応じて、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、思考、判断しながら授業に取り組み、自分の考えや技能を表現できるようにする。	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、協調等の態度を育て、健康・安全に留意して、生涯を通じて継続的に運動ができるように意欲的に授業に取り組むことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
３学期	H 陸上競技 【知識及び技能】 持久走で記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己に適したペースを維持して走ることができるようにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の持久走の記録向上の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫させ、自己や仲間の考えを伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をさせ、安全を確保して、持久走に主体的に取り組ませる。	持久走	【知識・技能】 持久走で記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の持久走の記録向上の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、持久走に主体的に取り組んでいる	○	○	○	10
							合計 78

年間授業計画 新様式

南葛飾 高等学校 令和７年度（２学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育　　科 目： 保健　　単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 組

教科担当者：（１組：長野泰明）

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館） ）

教科 保健体育 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】技能及び健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考・判断し、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 思春期と健康 【知識及び技能】 健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養わせ、意欲的に取り組ませる。	○思春期における心身の発達や性的成熟について理解する。 ○思春期に起こりやすい健康課題について理解する。	【知識及び技能】 健康・安全について理解を深め、技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	B 性意識の変化と性行動の選択 C 結婚生活と健康 D 妊娠・出産と健康 【知識及び技能】 健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養わせ、意欲的に取り組ませる。	○自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解する。 ○結婚生活と健康との関係について理解する。 ○受精、妊娠、出産の課程とそれに伴う健康課題について理解する。	【知識及び技能】 健康・安全について理解を深め、技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	E 家族計画 【知識及び技能】 健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養わせ、意欲的に取り組ませる。	○家族計画の意義について理解する。 ○人工妊娠中絶が心身へ与える影響について理解する。	【知識及び技能】 健康・安全について理解を深め、技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	F 加齢と健康 G 高齢社会に対応した取り組み 【知識及び技能】 健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養わせ、意欲的に取り組ませる。	○加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解する。 ○高齢社会における健康課題について理解する。	【知識及び技能】 健康・安全について理解を深め、技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3学期	H 大気汚染と健康 I 水質汚濁・土壌汚染と健康 J 食品の安全性と健康 【知識及び技能】 健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養わせ、意欲的に取り組ませる。	○大気汚染による健康への影響について理解する。 ○水質汚濁による健康への影響について理解する。 ○土壌汚染による健康への影響について理解する。 ○食品の安全性が損なわれると健康被害が生じる可能性があることを理解する。	【知識及び技能】 健康・安全について理解を深め、技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計 39

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　芸術(音楽)　　科目　音楽Ⅱ

教　科：　芸術(音楽)　　科　目：　音楽Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組

教科担当者：（1組：　李　）

使用教科書：（ 音楽Ⅱ　Tutti＋　　）

教科　芸術(音楽)　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 音楽全般の歴史、知識を高める。

【思考力、判断力、表現力等】 自分の表現したい音を、楽器を見つけ、課題をもって演奏技術の向上に取り組む。

【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現を通じて、自己の表現力の豊かさを育み、他の奏者の表現を学ぶ。

科目　音楽Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽全般の歴史、知識を高める。	自分の表現したい音を、楽器を見つけ、課題をもって演奏技術の向上に取り組む。	音楽表現を通じて、自己の表現力の豊かさを育み、他の奏者の表現を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	音楽Ⅱの学習目標や学習計画を確認し、なじみのある歌を歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら二部合唱で歌い、音楽Ⅱの学習意欲を養う。	オリエンテーション	○				【知】様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 【思】音色・リズム・旋律などの働きを感受しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 【主】歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	発声のエチュードや「アヴェ・マリア」を歌いながら技能を高めたり、いろいろな「アヴェ・マリア」を聴き比べながら音楽的な見方・考え方を働かせたりして、音楽Ⅱの学習を豊かに展開していくための力を高める。	「アヴェ・マリア」を歌おう	○			○	【知】曲想と音楽の構造との関わり及びその関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。 【思】音色・リズム・旋律などの働きを感受しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 【主】いろいろな「アヴェ・マリア」を聴き比べながら音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	日本語の抑揚や間・語感・歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され曲想を生み出しているかに関心をもち、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	日本歌曲を歌おう	○		○		【知】曲想と音楽の構造との関わり及びその関わりによって生みだされる表現上の効果について理解している。 【思】音色・リズム・旋律などの働きを感受しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 【主】日本語の抑揚や間・語感・歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され，曲想を生み出しているかに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	11
2学期	リコーダーまたはギターのどちらかを選択し、各楽器の奏法を身に付け高める。 また個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。	アンサンブルを楽しもう ―リコーダーかギターを選択して―		○			【知】曲にふさわしい奏法や身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思】音色・リズム・旋律を感受しながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 【主】リコーダーまたはギターのどちらかを選択し、奏法を身に付け高めることや個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	27
3学期	世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽表現の多様性を捉えるとともに、諸民族の声の音楽と日本の声の音楽の比較を通して、音楽表現や音楽文化の固有性・共通性を考える。	世界の様々な音楽の魅力	○			○	【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【思】音色・リズム・旋律を感受し、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主】世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽表現の多様性を捉え、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	20
											合計 78

年間授業計画　新様式例

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　芸術　　科目　美術Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組

教科担当者：（1組：山本　一博）

使用教科書：日本文教社　高校美術２

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する力を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	・水がつくりだす印象や風景のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。 ・風景のイメージなどを基に、水による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・水による表現の効果を生かして風景画に表す創造活動に、主体的に取り組む。	水による演出	○			○	【知】風景画に見られる水による効果や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。 【思】風景から感じ取った印象などを基に、水による表現の効果などを考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】水による表現の効果を生かして表す創造的な諸活動に 主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	・大気や光、奥行きや空間、風景のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。 ・風景のイメージなどを基に、奥行きや空間などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・奥行きや空間を生かして風景画に表す創造活動に、主体的に取り組む。	奥行きや空間を捉える	○			○	【知】風景に見られる大気や光、奥行きや空間などの効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思】造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 【主】奥行きや空間を生かして風景画に表す創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	・質感や全体のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。 ・ものや場面のイメージなどを基に、質感の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・質感を生かして、ものや場面のイメージを表す創造活動に、主体的に取り組む。	ものの質感を生かして	○			○	【知】ものや場面から感じ取った質感や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。 【思】ものや場面のイメージなどを基に、質感の効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】作品に表された質感の表現の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9

年間授業計画　新様式例

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　芸術　　科目　美術Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組

教科担当者：（1組：山本　一博）

使用教科書：日本文教社　高校美術２

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する力を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
2学期	・形や色彩、文字などの効果を生かし、表現方法を創意工夫して表す。 ・伝えたい情報の目的や対象、方法などを基に、場面に合わせた効果を考え、デザインの構想を練ったり鑑賞したりする。 ・目的や条件などを基に、情報を伝えるデザインの創造活動に、主体的に取り組む。	情報を伝えるデザイン		○		○	【知】形や色彩、文字などの工夫を基に、情報を伝えるためのデザインの効果を捉えることを理解している。 【思】伝えたい情報の目的や対象、方法などを基に、場面に合わせた効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的なデザインの構想を練っている。 【主】情報を伝えるための方法や工夫を感じ取るデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・形や色彩、構成などの効果、統一感などを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 ・統一感のあるデザインの効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・統一感のあるデザインの創造活動に、主体的に取り組む。	デザインがもたらす統一感		○		○	【知】統一感のあるデザインのための形や色彩、構成などの効果を捉えることを理解している。 【思】統一感のあるデザインの効果や工夫について考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】イメージを効果的に伝えるために統一感を演出するデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・既存の道具や製品などの操作で身に付けた感覚やイメージなどを基に、デザインの形や配置などの効果を捉える。 ・使う人の感性や感覚、経験などを基に、使いやすさを考えたデザインの意図と工夫について考える。 ・使う人の感性や感覚、経験などを考えたデザインを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。	感覚に訴えるデザイン		○		○	【知】既存の道具や製品などの操作で身に付けた感覚やイメージなどを基に、デザインの形や配置などの効果を捉えることを理解している。 【思】使う人の感性や感覚、経験などを基に、使いやすさを考えたデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 【主】使う人の感性や感覚、経験などを考えたデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
3学期	・ものの見立てや組み合わせなどが感情にもたらす効果などを理解し、表現方法を創意工夫して表す。 ・見立てや組み合わせなどによりつくりだされる新しい価値や意味などのイメージを生かし、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・ものの見立てや組み合わせにより新しい意味や価値をつくりだす創造活動に、主体的に取り組む。	身近なもので生み出す	○			○	【知】ものの見立てや組み合わせなどが感情にもたらす効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思】見立てや組み合わせなどによりつくりだされる新しい価値や意味などのイメージを生かして主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】ものの見立てや組み合わせなどによって表された新しい価値や意味などなどを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	・構図や動き、場面の変化などの効果を捉え、表現方法を創意工夫して表す。 ・アニメーションの特性を生かした表現の工夫や効果、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考える。 ・アニメーションの特性を生かして表現する創造活動に、主体的に取り組む。	アニメーションで伝える			○	○	【知】構図や動き、場面の変化などの効果や全体のイメージなどで捉えることを理解している。 【思】アニメーションの特性を生かした表現の工夫や効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 【主】作者の意図や表現の工夫、映像やアニメーションによる伝達表現の特性や効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
											合計
											78

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（2学年用）　教科　　外国語　　科目　英語コミュニケーションⅠ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅠ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（　1組：関岳彦

使用教科書：（ VISTA English Communication Ⅰ 三省堂　　）

教科　外国語（英語）　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】　コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語を用いて適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　外国の文化に対する理解を深め、英語を用いて主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基礎的な理解を深め。これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、様々な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国の文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、英語を用いて主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Lesson 5 【知識及び技能】 不定詞に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自然や職業などについて記された本文の内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然や職業、行動の目的などについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に話して伝え合う。	・指導事項 不定詞（名詞用法、副詞用法、形容詞用法） ・教材 教科書本文の内容理解、文法項目の定着を図るために授業プリントを用いる。 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 不定詞の三用法について理解し、英語でのやり取りの中で使うことができる。 【思考・判断・表現】 教科書本文の対話を読み取り、概要や要点を理解し、それについて簡単な英語で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不定詞を用いて、目的などについて主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
	Lesson 6 【知識及び技能】 現在完了に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史や野菜などについて記された本文の内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史や野菜などについて、時制や態を意識して、主体に話して伝え合う。	・指導事項 動詞の過去分詞形、現在完了 ・教材 教科書本文の内容理解、文法項目の定着を図るために授業プリントを用いる。 ・一人１台端末の活用　など	○	○	○	○	○	【知識・技能】 現在完了について理解し、英語でのやりとりの中でそれを使うことができる。 【思考・判断・表現】 教科書本文の対話を読み取り、概要や要点を理解し、それについて簡単な英語で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在完了を用いた基本的な文によって、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（2学年用）　教科　　外国語　　科目　英語コミュニケーションⅠ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅠ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（　1組：関岳彦

使用教科書：（ VISTA English Communication Ⅰ 三省堂　　）

教科　外国語（英語）　　の目標：

【知識及び技能】　英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】　コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語を用いて適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　外国の文化に対する理解を深め、英語を用いて主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基礎的な理解を深め。これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、様々な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国の文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、英語を用いて主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	Lesson 7 【知識及び技能】 受動態に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ロボットや人工知能について記された本文の内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ロボットや人工知能などについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に話して伝え合う。	・指導事項 動詞の過去分詞形、受動態 ・教材 教科書本文の内容理解、文法項目の定着を図るために授業プリントを用いる。 ・一人１台端末の活用　など	○	○	○	○	○	【知識・技能】 受動態について理解し、英語でのやりとりの中でそれを使うことができる。 【思考・判断・表現】 教科書本文を読み取り、概要や要点を理解し、それについて簡単な英語で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 受動態を用いた基本的な文によって、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
	Lesson 8 【知識及び技能】 関係代名詞（主格・目的格）に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 サンタクロースや信念について記された本文の内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 サンタクロースや信念などについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に話して伝え合う。	・指導事項 後置修飾、関係代名詞（主格のwhoとwhich、目的格、関係代名詞の省略） ・教材 教科書本文の内容理解、文法項目の定着を図るために授業プリントを用いる。 ・一人１台端末の活用　など	○	○	○	○	○	【知識・技能】 関係代名詞を理解し、英語のやりとりの中でそれを使うことができる。 【思考・判断・表現】 教科書本文を読み取り、概要や要点を理解し、それについて簡単な英語で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関係代名詞を用いた基本的な文によって、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（2学年用）　教科　　外国語　　科目　英語コミュニケーションⅠ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅠ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（　1組：関岳彦

使用教科書：（ VISTA English Communication Ⅰ 三省堂　　）

教科　外国語（英語）　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】　コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語を用いて適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　外国の文化に対する理解を深め、英語を用いて主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基礎的な理解を深め。これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、様々な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国の文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、英語を用いて主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	Lesson 9 【知識及び技能】 分詞・関係副詞に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容などについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に話して伝え合う。	・指導事項 分詞・関係副詞 ・教材 教科書本文の内容理解、文法項目の定着を図るために授業プリントを用いる。 ・一人１台端末の活用　など	○	○	○	○	○	【知識・技能】 分詞・関係副詞を理解し、それを使うことができる。 【思考・判断・表現】 教科書本文を読み取り、概要や要点を理解し、それについて簡単な英語で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的な文を用いて主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	9
	Lesson 10 【知識及び技能】 比較に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容などについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に話して伝え合う。	・指導事項 比較 ・教材 教科書本文の内容理解、文法項目の定着を図るために授業プリントを用いる。 ・一人１台端末の活用　など	○	○	○	○	○	【知識・技能】 比較を理解し、それを使うことができる。 【思考・判断・表現】 教科書本文を読み取り、概要や要点を理解し、それについて簡単な英語で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的な文を用いて主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1 合計 78

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和7年度（２学年用）　教科　　家庭科　　科目　家庭基礎

教　科：　家庭科　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（１組：吉本未来）

使用教科書：（ 未来へつなぐ　家庭基礎３６５　（教育図書）　　）

教科　家庭科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　生活を主体的に営むために実践・体験的な学習を通して必要な基礎的な理解および技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生活の中から課題を設定し、解決策を根拠に基づいて表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し地域社会に参画しようとし、自分や地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族や福祉、消費生活、衣食住、生活設計などに関する基礎的な知識や技術を実践的・体験的な学習を通して総合的に身につけるようにする。	生活の充実を図るための課題を見いだし、解決を目指して思考を深め適切に判断し工夫する能力を養う。	自分の生活や地域・社会生活の充実及び向上に関心をもち、様々な人と協働しながら主体的に取り組む実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 生涯の生活設計 【知識及び技能】 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の人生のライフイベントを想定しまとめたり発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 人生の目標を立てそのための意思決定について考える。	あなたの将来どうする？ ライフステージ ライフイベント 家族のありかた 意思決定・目標設定 ＜教材＞ ・教科書 ・DVD・VTR資料 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 これからの人生で起こりうるライフイベントについて理解している。 【思考・判断・表現】 これからの自分の生活について想像し目標を設定することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人生の目標達成のために必要なことやリスクについて自ら調べようとしている。	○	○	○	4
	B 青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】 青年期について理解する。 社会の変化に伴う家族・家庭の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族・家庭とは何かを様々な観点から考え自分なりの価値観を築く。 【学びに向かう力、人間性等】 自分や他者の性を尊重することの大切さを理解する。	青年期の自立 家族を築くということ 家族と社会 ＜教材＞ ・教科書 ・DVD・VTR資料 ・ジェンダーゲーム ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 現代の家族の特徴について、家族機能の変化や人々の意識の変化などから理解している。 【思考・判断・表現】 青年期をどのように過ごすかや、これからの家族・家庭や性のあり方について考え、まとめたり、発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の課題や家族・家庭・性のあり方についての学習を自分の問題として捉えようとしている。	○	○	○	4
	C 子どもの生活と保育 【知識及び技能】 子どもの発達に応じて適切に関わるための知識を身につけさせる。 保育における親や大人の役割 子どもを生み育てる意義、発達段階に応じた関わりの重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもが育つ適切な環境について考え意見をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が将来保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組もうとする。	妊娠期の特徴(実習含む) 子どもの成長の特徴(実習含む) 子どもの遊びと感覚(実習含む) 親の役割と生活習慣 日本の子育て事情 子育てを支える仕組み ＜教材＞ ・教科書 ・DVD・VTR資料 ・マタニティスーツ ・新生児人形 ・絵本 ・折り紙　・ぬり絵 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 子どもの心身の特徴や発達、生命の尊さ 子どもの遊びの意義や文化について理解している。 保育における親や大人の役割、生活における人との関わりの重要性を理解している。 【思考・判断・表現】 親の役割や子どもを生み育てることの意義について考え、まとめたり発表したりすることが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの発達段階に応じて、工夫しながら関わりかたを考えている。	○	○	○	22

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和7年度（２学年用）　教科　　家庭科　　科目　家庭基礎

教　科：　家庭科　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（１組：吉本未来）

使用教科書：（ 未来へつなぐ　家庭基礎３６５　（教育図書）　　）

教科　家庭科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 生活を主体的に営むために実践・体験的な学習を通して必要な基礎的な理解および技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から課題を設定し、解決策を根拠に基づいて表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し地域社会に参画しようとし、自分や地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族や福祉、消費生活、衣食住、生活設計などに関する基礎的な知識や技術を実践的・体験的な学習を通して総合的に身につけるようにする。	生活の充実を図るための課題を見いだし、解決を目指して思考を深め適切に判断し工夫する能力を養う。	自分の生活や地域・社会生活の充実及び向上に関心をもち、様々な人と協働しながら主体的に取り組む実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
２学期	D 高齢期の生活と福祉 【知識及び技能】 高齢者の心身の特徴について理解する。 我が国の高齢化の特徴を知り高齢者福祉の現状と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立してた生活を支えるために家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者の自立と尊厳について高齢者の立場にたって理解しようとする。	高齢者とは 高齢期の心身の変化 高齢期の健康・認知症 高齢期の生活 高齢化の現状 超高齢化社会の課題 安心できるくらしを支える ＜教材＞ ・教科書 ・DVD・VTR資料 ・認知症テスト(抜粋) ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 高齢者の心身の特徴、認知症の特徴や対処法について正しく理解している。 【思考・判断・表現】 高齢者の生活を支えていくために、家族や地域、社会全体としてどのようなシステムが必要になっていくか具体的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者の自立と尊厳を大切にしながら、高齢者について理解しようとしている。	○	○	○	7
	E 共生社会と福祉 【知識及び技能】 共生社会の重要性を知り、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインなどの理念を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者や障がいのある人の立場に立ってさまざまな問題点について自分の意見をいう事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者や障害のある人など多様な人々とともに支え合って生きようとする姿勢がある。	ノーマライゼーション ユニバーサルデザイン 自助・共助・公助 社会保障制度 ＜教材＞ ・教科書 ・DVD・VTR資料 ・UDを採用している商品 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 高齢者や障がいのある人など多様な人々が共に支え合って生きることの意義を理解している。 【思考・判断・表現】 高齢者や障がいのある人の立場に立ってさまざまな問題点について自分の意見をいう事ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな立場の人はや、自分とは異なる価値観の人に対しても理解しようとしている。	○	○	○	7
	F 衣生活と健康 【知識及び技能】 ライフステージや目的に応じた衣服について理解する。 被服管理について理解し管理できる技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の衣生活について、人と比較して意見を言う事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 被服製作実習に意欲的に取り組む。 着用の目的に応じて健康的な衣服選択と着装をしようとする。	衣服の機能とTPO 衣服を選ぶ 衣服の手入れと保管 被服製作実習 ＜教材＞ ・教科書 ・被服製作課題 ・裁縫道具　・ミシン ・DVD・VTR資料 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 衣服の機能やライフステージや目的に応じた衣服、衣服の健康への影響などを理解している。 衣服管理を適切に行う技能を習得している。 【思考・判断・表現】 場面に応じた着装の工夫を考えている。 衣服の入手前に、手入れや保管方法を考える事ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の衣生活を分析し、衣服に関心をもとうとしている。 衣服の手入れに実際に挑戦しようとしている。	○	○	○	18

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和7年度（２学年用）　教科　　家庭科　　科目　家庭基礎

教　科：　家庭科　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（１組：吉本未来）

使用教科書：（ 未来へつなぐ　家庭基礎３６５　（教育図書）　　）

教科　家庭科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　生活を主体的に営むために実践・体験的な学習を通して必要な基礎的な理解および技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生活の中から課題を設定し、解決策を根拠に基づいて表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し地域社会に参画しようとし、自分や地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族や福祉、消費生活、衣食住、生活設計などに関する基礎的な知識や技術を実践的・体験的な学習を通して総合的に身につけるようにする。	生活の充実を図るための課題を見いだし、解決を目指して思考を深め適切に判断し工夫する能力を養う。	自分の生活や地域・社会生活の充実及び向上に関心をもち、様々な人と協働しながら主体的に取り組む実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
３学期	G 消費生活と意思決定 【知識及び技能】 消費者保護のしくみや、消費者問題の原因と被害に遭わないための対策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ひとつの情報を鵜呑みにせず情報を正しく活用する情報リテラシーについて考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 消費者問題について自分ごととして捉え対策を考えようとする。	契約の重要性 消費者信用のしくみ 消費者問段の現状と課題 消費者問題の解決法 キャッシュレス ＜教材＞ ・教科書 ・DVD・VTR資料 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 契約や消費者信用、多重債務などの問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる。 【思考・判断・表現】 ひとつの情報を鵜呑みにせず情報を正しく活用する情報リテラシーについて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の意志で契約できる「おとな」としての権利と責任について、自分ごととして捉えようとしている。	○	○	○	16 合計 78

年間授業計画　様式例

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　朝鮮語　　科目　朝鮮語Ⅰ

教　科：　朝鮮語　　科　目：　朝鮮語Ⅰ　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組

教科担当者：（ 1組：　李 春花 ）

使用教科書：（　　）

教科　朝鮮語　　の目標：

【知識及び技能】日常生活の話題や、聞くこと、話すことの獲得を通して、朝鮮語の基礎的な能力を育てる。

【思考力、判断力、表現力等】朝鮮語の言語の特色や文化、歴史に親しむことを通して、差別や偏見の意識、感情を払拭し友好的な精神を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】朝鮮語の言語の特色や文化に関心を持ち、挑戦を正しく見る態度をより確かなものにする。

科目　朝鮮語Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活の話題や、聞くこと、話すことの獲得を通して、朝鮮語の基礎的な能力を育てる。	朝鮮語の言語の特色や文化、歴史に親しむことを通して、差別や偏見の意識、感情を払拭し友好的な精神を育てる。	朝鮮語の言語の特色や文化に関心を持ち、朝鮮を正しく見る態度をより確かなものにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 日常生活の話題や、聞くこと、話すことの獲得を目指し、朝鮮語に関する基礎的な能力を育てていく。 【思考力、判断力、表現力等】 朝鮮語の言語の特色や文化、歴史に親しむことを通して、差別や偏見の意識、感情を払拭した友好的な精神を育てていく。 【学びに向かう力、人間性等】 朝鮮語の言語の特色や文化に関心を持ち、朝鮮を正しく見る態度をより確かなものにする。	・朝鮮半島の歴史・地理・言葉 ・朝鮮半島と日本の交流の歴史 ・朝鮮半島のことわざ(日本との比較) ・曜日、月について	【知識・技能】 日常生活の話題や、聞くこと、話すことを学習し、朝鮮語に関する基礎的な能力を獲得できている。 【思考・判断・表現】 朝鮮語の言語の特色や文化、歴史に親しむことを通し、差別や偏見の意識、感情を払拭した精神を持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 朝鮮語の言語の特色や文化に関心を持ち、朝鮮を正しく見ることができている。	○	○	○	14
2学期	【知識及び技能】 日常生活の話題や、聞くこと、話すことの獲得を目指し、朝鮮語に関する基礎的な能力を育てていく。 【思考力、判断力、表現力等】 朝鮮語の言語の特色や文化、歴史に親しむことを通して、差別や偏見の意識、感情を払拭した友好的な精神を育てていく。 【学びに向かう力、人間性等】 朝鮮人講師による授業を通して、異文化を正しく受け入れる資質を備える。	朝鮮語の会話・文法 終声について 固有数字について	【知識・技能】 日常生活の話題や、聞くこと、話すことを学習し、朝鮮語に関する基礎的な能力を獲得できている。 【思考・判断・表現】 朝鮮語の言語の特色や文化、歴史に親しむことを通し、差別や偏見の意識、感情を払拭した精神を持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 朝鮮人講師による授業を通して、異文化を正しく受け入れるような資質を備えるよう努めている。	○	○	○	16
3学期	【知識及び技能】 日常生活の話題や、聞くこと、話すことの獲得を目指し、朝鮮語に関する基礎的な能力を育てていく。 【思考力、判断力、表現力等】 朝鮮語の言語の特色や文化、歴史に親しむことを通して、差別や偏見の意識、感情を払拭した友好的な精神を育てていく。 【学びに向かう力、人間性等】 「語学」だけでなく「同和」教育の視点でも学習を捉えられるようにする。	朝鮮半島に伝わる歌 （歌を通して言葉と文化を教える） 朝鮮半島の食文化と言葉 １年間のまとめ	【知識・技能】 日常生活の話題や、聞くこと、話すことを学習し、朝鮮語に関する基礎的な能力を獲得できている。 【思考・判断・表現】 朝鮮語の言語の特色や文化、歴史に親しむことを通し、差別や偏見の意識、感情を払拭した精神を持つことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「語学」だけでなく「同和」教育の視点でも学習を捉えられている。	○	○	○	9
							合計 39

年間授業計画　様式例

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　日本語　　科目　日本語

教　科：　日本語　　科　目：　日本語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（1組：長尾　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（『できる日本語初　初級・中級』『漢字たまご　初級・初中級』ほか　　）

教科　日本語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 聞く・話す・読む・書くの４技能をバランスよく身につける

【思考力、判断力、表現力等】 理解した日本語を、複数の言語を用いて思考・判断し、日本語で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 日本語を用いて、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　日本語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に運用できる技能を身に付ける。	日常的な話題や社会的な話題について、日本語で理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりすることができる。	日本語を用いて、主体的、自立的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。また、多様な言語・文化的背景をもつ仲間との協働的対話を通して、視野を広げる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「新しい一歩」初めて会った人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせしたりすることができる。 【知識及び技能】 アルバイトの問い合わせをしたり、面接での簡単なやりとりをしたりするために必要な語彙、表現、文法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 アルバイトに関する経験や考えを振り返り、今後の希望について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 どんなアルバイトをしたいのか、その際に求められる力は何かについて考える。	・求人情報を読む ・履歴書を書く ・初対面の目上の相手と会話する	【知識・技能】 アルバイトの問い合わせをしたり、面接での簡単なやりとりをしたりするために必要な語彙、表現、文法を学んだか。 【思考・判断・表現】 アルバイトに関する自分の経験や考えを振り返り、今後の希望について考えたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①主体的・自立的に学習を進めたか。 ②他者と協力できたか。 （課題提出および授業内発表による評価）	○	○	○	14
	「わたしの目標」自分の目標や計画を話したり進路の参考のために周りの人から話を聞いたりすることができる。 【知識及び技能】 興味があることについて、周りの人に話したり質問したりするために必要な語彙、表現、文法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の将来の希望や家族観を考え、今後の計画について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 どこで、どんな人生を送りたいのか考えてみる。	・結婚観や家族観について動画を視聴したり、読んだりして、自分の価値観との差異について考える。 ・自分のライフプランを図にまとめ、発表する。	【知識・技能】 興味があることについて、周りの人に話したり質問したりするために必要な語彙、表現、文法を学んだか。 【思考・判断・表現】 自身の将来の希望や家族観を考え、今後の計画について考えたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①主体的・自立的に学習を進めたか。 ②他者と協力できたか。 （課題提出および授業内発表による評価）	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

年間授業計画　様式例

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　日本語　　科目　日本語

教　科：　日本語　　科　目：　日本語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組

教科担当者：（1組：長尾　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（『できる日本語初　初級・中級』『漢字たまご　初級・初中級』ほか　　）

教科　日本語　　の目標：

【知識及び技能】 聞く・話す・読む・書くの４技能をバランスよく身につける

【思考力、判断力、表現力等】 理解した日本語を、複数の言語を用いて思考・判断し、日本語で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 日本語を用いて、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　日本語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に運用できる技能を身に付ける。	日常的な話題や社会的な話題について、日本語で理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりすることができる。	日本語を用いて、主体的、自立的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。また、多様な言語・文化的背景をもつ仲間との協働的対話を通して、視野を広げる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	「私の国・町」自分の出身地について詳しく紹介し、違いについて考える。 【知識及び技能】 出身国の制度や習慣ついて紹介するために必要な語彙、表現、文法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 制度や習慣の違いの背後にどんな考え方が文化があるか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 異なる文化について違いを理解するとともに、互いを尊重する姿勢を身に付ける。	・出身地について調べ紹介する ・互いの制度や習慣の違いに着目し、なぜ違いが生じるのか考える。	【知識・技能】 出身国について紹介するために必要な語彙、表現、文法を学んだか。 【思考・判断・表現】 どんな違いがあるか、またその背後にある違いをもたらす要因は何かについて考えたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①主体的・自立的に学習を進めたか。 ②他者と協力できたか。 （課題提出および授業内発表による評価）	○	○	○	16
	「地震が起きたら？」災害に関する知識を学び、適当な行動がとれるようになる。 【知識及び技能】 災害や防災について知り、正しい情報を得て、適切な行動をとるために必要な語彙、表現、文法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 災害に関する情報を収集し、防災の意義と必要性について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 グループでの情報収集、情報共有を通じて、他者との協力、強調を学ぶ。	・自国や日本の災害について調べる。 ・災害情報の収集方法を知る。 ・それぞれの災害発生時における、自分と家族の行動を考える。	【知識・技能】 災害や防災について情報を得るために必要な語彙、表現、文法を学んだか。 【思考・判断・表現】 防災の意義と必要性について考えたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①主体的・自立的に学習を進めたか。 ②他者と協力できたか。 （課題提出および授業内発表による評価）	○	○	○	16
	定期考査						1
3学期	総合プロジェクト：インタビュー活動と発表 【知識及び技能】 インタビューの質問作成など必要な準備、インタビューの技能、結果をまとめて発表する技能、レポートにまとめる技能を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の興味関心を見定めてインタビューのテーマを決めること、テーマを掘り下げて質問を作成すること、インタビューを実行すること、結果をまとめて発表しレポートを書くことを通して、思考力・判断力・表現力を養う。 【学びに向かう、人間性等】 長時間継続して自主的に取り組むプロジェクトを通じて、計画性、自立性、自己管理能力などを養う。	・テーマ決め ・インタビューの質問作成 ・インタービューの実施 ・発表用パワーポイント作成 ・レポート作成	【知識・技能】 プロジェクトの達成のために必要な語彙、表現、文法を学んだか。 【思考・判断・表現】 自分の興味関心を見定めてテーマを決定し、インタビューを実行、発表し、レポートにまとめることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①主体的・自立的に学習を進めたか。 ②他者と協力できたか。 （課題提出および授業内発表による評価）	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

年間授業計画

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　総合演劇　科目　演劇

教　科：　総合演劇　　科　目：　演劇　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組

教科担当者：（１組：筆宝 ）

使用教科書：（ 詩・物語・戯曲　他　　）

教科　総合演劇　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　からだと言葉のレッスンによって、深い集中を経験させる。

【思考力、判断力、表現力等】　自分と向き合い、自分の課題について考える。表現しようとする。

【学びに向かう力、人間性等】　安心して正直な自分を出せる場、他者とともに支え合う感覚を養う。

科目　演劇　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
からだと言葉のレッスンによって、深い集中を経験させる。	作品を通して自分と向き合い自分の課題を考える。 自分のからだで体験したり発見したことを表現しようとする。	上演に向けてクラスが共同体としてまとまっていくことで、他者を受け入れ、繋がっていく感覚をほりおこす。 他者とともに生きる体験を味わう。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 からだと言葉のレッスンによって、深い集中を経験させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分と向き合い、自分の課題について考える。表現しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安心して正直な自分を出せる場、他者とともに支え合う感覚を養う。	自分のからだの気づき 一音一拍 詩の朗読	【知識・技能】 からだと言葉のレッスンによって集中して取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 作品を通して自分と向き合い自分の課題を考えている。 自分のからだで体験したり発見したことを表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上演に向けてクラスが共同体としてまとまっていくことで他者を受け入れようとしている。 他者とともに協力しようとしている。	○	○	○	6
		からだのゆらし 呼びかけのレッスン 物語の朗読 対話文		○	○	○	8
		なわなし縄跳び(想像力の共有) 風船バレー(協力)		○	○	○	8
		Blind Walk 台本を1冊読み通す チャップリンの映画「街の灯」の鑑賞		○	○	○	8
2学期	【知識及び技能】 からだと言葉のレッスンによって、深い集中を経験させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分と向き合い、自分の課題について考える。表現しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安心して正直な自分を出せる場、他者とともに支え合う感覚を養う。	さまざまなゲームを通してクラスの人間関係を深める。 台本決定	【知識・技能】 からだと言葉のレッスンによって集中して取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 作品を通して自分と向き合い自分の課題を考えている。 自分のからだで体験したり発見したことを表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上演に向けてクラスが共同体としてまとまっていくことで他者を受け入れようとしている。 他者とともに協力しようとしている。	○	○	○	6
		台本に入る前の事前学習 台本の役を色々読ませる キャストを決定して読む 立ち稽古を始める		○	○	○	8
				○	○	○	8
		立ち稽古 冬休みにセリフを暗唱するように台本を渡す		○	○	○	8
3学期	【知識及び技能】 からだと言葉のレッスンによって、深い集中を経験させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分と向き合い、自分の課題について考える。表現しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 安心して正直な自分を出せる場、他者とともに支え合う感覚を養う。	集中稽古 舞台設営 小道具と衣装の作成	【知識・技能】 からだと言葉のレッスンによって集中して取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 作品を通して自分と向き合い自分の課題を考えている。 自分のからだで体験したり発見したことを表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上演に向けてクラスが共同体としてまとまっていくことで他者を受け入れようとしている。 他者とともに協力しようとしている。	○	○	○	8
		舞台稽古 リハーサル 本番 事後指導(クラスの本番の鑑賞と感想文)		○	○	○	8
		1人1人に1年間の様子をコメントとして書き渡す。 面談・補習		○	○		2
							合計 78

年間授業計画　様式例

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　人間と社会　　科目　人間と社会

教　科：　人間と社会　　科　目：　人間と社会　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組

教科担当者：（　1組：横山　）

使用教科書：（ 人間と社会　　）

教科　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】勤労観や人間関係の構築、地域社会との関わり等、生徒自身にとって関わりが深い課題の視点を踏まえて、社会人として身に付ける素養を主体的な学習を通して、習得する。

【思考力、判断力、表現力等】基礎学力の向上を図る指導を行い、各教科で身につけた知識や技能等を相互に関連付け、深化させて、課題の解決策の検討に当たる。

【学びに向かう力、人間性等】今後の自己の在り方、生き方にかかわる課題について考える態度を育てる。

科目　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
勤労観や人間関係の構築、地域社会との関わり等、生徒自身にとって関わりが深い課題の視点を踏まえて、社会人として身に付ける素養を主体的な学習を通して、習得する。	基礎学力の向上を図る指導を行い、各教科で身につけた知識や技能等を相互に関連付け、深化させて、課題の解決策の検討に当たる。	今後の自己の在り方、生き方にかかわる課題について考える態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A マナーと社会のルールについて考える（第５章） 【知識及び技能】 道徳性を養い判断基準を高めることの大切さを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 礼儀や規範意識の視点から人間関係の構築を考察するとともに、その必要性について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の今後の過ごし方に生かせるように、主体的に考える。	高校生の現状から分かる、マナーやルールの必要性 接遇・電話の取り方・名刺の渡し方・手紙の出し方	【知識・技能】 道徳性を養い判断基準を高めることの大切さを理解できたか。 【思考・判断・表現】 礼儀や規範意識の視点から人間関係の構築を考察するとともに、その必要性について表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の今後の過ごし方に生かせるように、主体的に考えられたか。	○	○	○	5
	B 支え合う社会（第11章） 【知識及び技能】 多様な人たちの立場を理解し、違いを認める。 【思考力、判断力、表現力等】 体験を通して自己の在り方について考察し、他者との違いを理解しつつ、尊重する姿勢・考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の在り方に触れながら、自己の在り方について、主体的に考える。	ボランティアセンター 障害者福祉分野の活動 国際交流・協力分野の活動 各国の文化について 【体験活動】 （連携先：双葉夜間中学校等） ①障害者へのボランティア （作品を特別支援学校に届ける） ②夜間中学の進路相談	【知識・技能】 多様な人たちの立場を理解し、違いを認められるか。 【思考・判断・表現】 体験を通して自己の在り方について考察し、他者との違いを理解しつつ、尊重する姿勢・考えを表現できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の在り方に触れながら、自己の在り方について、主体的に考えられるか。	○	○	○	8
	C 働く意義（第３章） 【知識及び技能】 自立することを目標に学びと働くことの意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体験を通して、働くことや学ぶことの意義について自身に置きかえて考察し、そのために必要な資質を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の働き方・学び方に触れることで、自身についても主体的に考える。	①適切な進路選択について ②公平な採用に向けた取組について ③事例検討 【体験活動】（連携先：同窓会等） ①ジョブシャドウ（同窓会） ②卒業生や会社など、職業人に会いに行ってインタビューをする。	【知識・技能】 自立することを目標に学びと働くことの意義を理解できたか。 【思考・判断・表現】 体験を通して、働くことや学ぶことの意義について自身に置きかえて考察し、そのために必要な資質を理解できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の働き方・学び方に触れることで、自身についても主体的に考えられるか。	○	○	○	6

年間授業計画　様式例

南葛飾　高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　人間と社会　　科目　人間と社会

教　科：　人間と社会　　科　目：　人間と社会　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組

教科担当者：（　1組：横山　）

使用教科書：（ 人間と社会　　）

教科　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】勤労観や人間関係の構築、地域社会との関わり等、生徒自身にとって関わりが深い課題の視点を踏まえて、社会人として身に付ける素養を主体的な学習を通して、習得する。

【思考力、判断力、表現力等】基礎学力の向上を図る指導を行い、各教科で身につけた知識や技能等を相互に関連付け、深化させて、課題の解決策の検討に当たる。

【学びに向かう力、人間性等】今後の自己の在り方、生き方にかかわる課題について考える態度を育てる。

科目　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
勤労観や人間関係の構築、地域社会との関わり等、生徒自身にとって関わりが深い課題の視点を踏まえて、社会人として身に付ける素養を主体的な学習を通して、習得する。	基礎学力の向上を図る指導を行い、各教科で身につけた知識や技能等を相互に関連付け、深化させて、課題の解決策の検討に当たる。	今後の自己の在り方、生き方にかかわる課題について考える態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	E 救急救命について 【知識及び技能】 命の大切さと救命の基礎知識について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体験を通して、救急救命や防災に対する心構えを涵養し、必要な処置や行動における判断力を能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 防災や救急について、自身に求められる資質を理解し、その育成に主体的に取組む。	ＡＥＤの使い方・止血法 【体験活動】（連携先：町内会・本田消防署） ①地域の方々との炊き出し ②防災訓練 防災、災害救援分野の活動 環境保全分野の活動	【知識及び技能】 命の大切さと救命の基礎知識について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 体験を通して、救急救命や防災に対する心構えを涵養し、必要な処置や行動における判断力を能力を養うことができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 防災や救急について、自身に求められる資質を理解し、その育成に主体的に取り組めたか。	○	○	○	5
	F 人間関係を築く（第１章） 【知識及び技能】 より良く生きるために自身を省み、他者を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体験を通して、自分自身や他者を考察し、お互いのことを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 体験を通して、他者を理解するために主体的に活動する。	自己理解、他者理解 ①自己の弁論大会への取組 ②他者の弁論の評価 他者の弁論に関する感想文	【知識及び技能】 より良く生きるために自身を省み、他者を理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 体験を通して、自分自身や他者を考察し、お互いのことを表現できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 体験を通して、他者を理解するために主体的に活動できたか。	○	○	○	6
3学期	G 地域社会を築く（第12章） 【知識・技能】 社会の一員であることを自覚し、積極的に社会参画する意義を理解する。 【思考・判断・表現】 体験の中で地域の人たちと触れ合いながら、舞台制作を行うことで社会の一員であることを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の人とのふれあいや演劇を通して、社会参画について学ぼうとする。	地域社会で活動する人々への理解 【体験活動】（連携先：近隣の方） ①地域の人たちと南葛飾定時制の演劇を考える。 ②地域の人たちとの演劇舞台の作成 ③演劇の上演 地域社会の中での自分を見つめる。	【知識・技能】 社会の一員であることを自覚し、積極的に社会参画する意義を理解できたか。 【思考・判断・表現】 体験の中で地域の人たちと触れ合いながら、舞台制作を行うことで社会の一員であることを考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の人とのふれあいや演劇を通して、社会参画について学ぼうとしている。	○	○	○	9
							合計 39